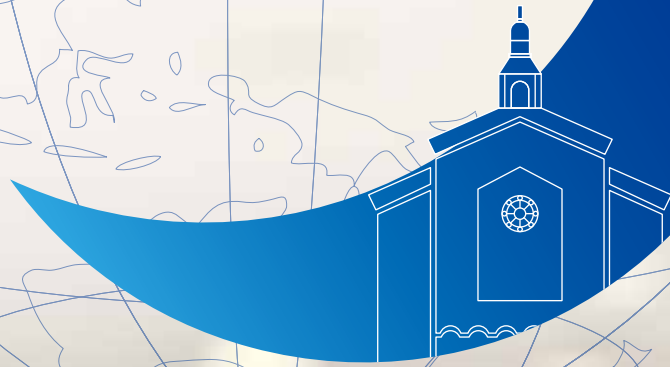


KWANSEI GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL



16年にわたる 一貫教育の第一歩

“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成をめざして

関西学院では初等教育から大学・大学院までの16年間を通して、
スクール・モットー“Mastery for Service”の精神を鍛え、それを体現する人材の育成をめざします。
初等教育は一貫教育の第一歩。多様な学び、そして他者とのかかわりの中で、
将来社会で活躍するために必要な土台を築きます。

スクール モットー

“Mastery for Service”

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”は、「奉仕のための練達」と訳され、隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。

ミッション ステートメント

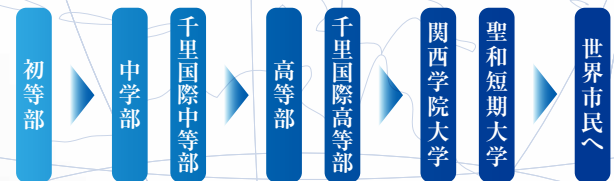
関西学院は、キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」として、ここに集うすべての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見いだせるよう導き、思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命とします。

めざす 人間像

“Mastery for Service”を体現する世界市民

世界を視野におさめ、人への思いやりと社会変革への気概を持ち、高い識見と倫理観を備えて自己を確立し、自らの大きな志をもって行動力を発揮する人。

関西学院 一貫教育 の流れ



初等部から 世界を導く 存在へ

一貫教育を支えるキリスト教の教え

関西学院の一貫教育では、キリスト教主義に基づいた全人教育を展開しています。初等部では毎朝の礼拝や聖書の時間を通して子どもたちの豊かな心を育成。数多くの教えの中でも、初等部で特に大切にしているのが「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」（ルカによる福音書2章40節）という言葉です。この言葉には、神の豊かな恵みと愛に包まれて、心も体もたくましく成長してほしいという、初等部で学ぶ子どもたちへの深い思いが込められています。



社会でさまざまな変化が起こり、世界全体が不安定な状況を迎えている現在。人々はあらゆる垣根を越えて、他者に寄り添い、共に歩むことを必要としています。創立者のウォルター・ラッセル・ランバスの理念と精神を表すスクール・モットー、“Mastery for Service”。初等部では「社会と人のために、自らを鍛える」と訳され、子どもたちの高い倫理観や豊かな感性、国際感覚、そして他者に寄り添う奉仕の精神を育むための土台として伝えられています。“Mastery for Service”を体現することが、まさに今世界で求められている人材になることであり、初等部から羽ばたいていく子どもたちはこれからの時代を導いていく存在となるでしょう。



初等部聖句

「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」

新約聖書ルカによる福音書 2章40節

1889年、原田の森（現在の神戸市灘区）に生徒19人教師5人で始まった関西学院は、現在8つのキャンパスに保育園から大学・大学院、インターナショナルスクールなどを擁する総合学園となり、国籍・年齢・性別を超えて多様な人々にそのニーズに応じた学びの場を提供しています。このような中、社会の激しい変化に対応する上で、その重要性が再認識されている初等教育を担う初等部は、本学院のキリスト教主義に基づく全人教育をその礎として支えています。そして、実用的な学びの意味に留まらず、わかること、できるようになること自体に喜びを感じ、新たな次元・領域の世界を創造し、獲得した力を人のために使えることなど多様な意味を備えた学びを用意しています。さらに、豊かな学びを通して、自分自身の価値を認識し、その価値観を大切にしつつ他者も尊重し導いていくリーダー、そして関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”を体現する世界市民に、子どもたちを育成する場が初等部です。

関西学院初等部 部長
小谷 正登



関西学院は、1889年（明治22年）創立の伝統ある学校です。スクールモットー“Mastery for Service（奉仕のための練達）”は建学の精神を表し、初等部では「社会と人のために、自らを鍛える」と訳しています。初等部は創立15年と関学ファミリーの中では歴史の浅い学校ですが、昨年度いよいよ第1期生が大学を卒業し、社会へ羽ばたきました。第1期生のみなさんは、初等部時代から培われてきた建学の精神を発揮し、“Mastery for Service”を体現してくれるでしょう。社会の大きな変化により、今、人々は先の見えない不安の中にいます。しかし、新約聖書にはこう書かれています。「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。そして希望は私たちに欺くことはない。（ローマ人への手紙5章3～5節より）」この希望の種こそが初等部の子どもたちです。子どもたち一人ひとりの持てる力を大切に育めば希望が生まれます。その希望を大きく成長させる場が関西学院初等部です。

関西学院初等部 校長
大西 宏道



関学

4つの柱

聖書・礼拝

Bible

礼拝や聖書の時間を通して、人を思いやる気持ち、小さなことに感謝できる心を育む。

国際理解

Global

英語力を高め、コミュニケーションを楽しみながら、異なる価値観の獲得をめざす。

全員参加・理解

Universal

みんなで主体的に問題解決を図りながら、確かな学力の獲得をめざす。

本物

Authentic

文化、スポーツ、芸術、自然に触れる機会を通じて、豊かな感性を育む。



Bible | 聖書・礼拝 |

人を愛し、愛されるリーダーへ。

こころの時間

毎朝の礼拝から、
人や社会を思いやる心を育む

全校児童と教職員がチャペルに集い、讃美と祈りをささげ、聖書の御言葉に耳を傾ける毎朝の礼拝。子どもたちは、礼拝で語られる言葉や問いかけから、スクール・モットー“Mastery for Service”（社会と人のために、自らを鍛える）の精神を学び、「生きること」に静かに向き合います。この時間が人生のさまざまな困難を乗り越えていく力となり、人や社会を思いやる豊かな心を育んでいくと考えています。



聖書の時間



聖書の教えを学び、
たくましく思いやりある人間へ

聖書の授業では、一人ひとりの存在価値や他者愛を愛して生きることや学びます。聖者の言葉は、人生のさまざまな場面で勇気や希望を与えてくれます。この授業を通して、子どもたちは力強く生きるためのたくましさと思いやりの心を育みます。

リトリート
キャンプ



自然の中で聖書の言葉に触れ、
静かに自分を振り返る

4年生が2年生をリードしながら2泊3日寝食を共にします。日常生活を離れ、豊かな自然の中で聖書の言葉に触れる体験や、さまざまなプログラムから、新たな発見や気づきを得た子どもたちは、ひとまわり大きく成長します。

VOICE

毎朝のこころの時間で讃美歌を歌ったり、お祈りをしたりすると、気持ちがスッキリします。また、先生方や上級生のお話を聞く機会もあり、その人の思いや考えを知るとうれしくなります。聖書の時間では、聖書のたとえ話や不思議なお話を聞けてとても楽しいです。どちらも私にとって大切な時間です。



世界市民の一步をふみだす。

Global | 国際理解 |

CCT



CA（カルチュラル・アンバサダー）さんとバンクーバーにあるスチーム・クロックを探しに行きました。美しい街並みを楽しむなど、貴重な体験は思い出に残っています。



とてもフレンドリーなCAさんと宿泊先の1つであった大学の構内を歩きました。カナダについていろいろなことを教えてもらい、楽しい時間を過ごしました。



現地の方と、漢字やひらがななど、日本の文化についてジェスチャーを交えて話しました。言葉をどう使うだけでなく、伝えようという気持ちが大切なんだと実感しました。



ホストファミリーはとてもやさしく、手作りのピザを用意してくれたり、海に連れて行ってくれたり、親切に私たちが気をかけてくださいました。

異なる言語や文化に触れ、
世界市民としての基礎を養う

世界市民としての基礎を養う初等部では、英語でのコミュニケーション力、国際感覚、豊かな感性を伸ばす集大成として、6年生を対象に「カナダ・コミュニケーション・ツアー（CCT）」を実施。姉妹校Hollyburn Elementary Schoolの児童や現地の方々と交流する中で、文化や環境が異なる相手の思いを正しく理解し、英語で自分の思いを伝えることの難しさや大切さを学びます。

VOICE

英語の授業では、動画を見たりテキストを読んだりしながら勉強します。先生はとっても優しくて、みんなが理解できるようにわかりやすく説明してくれます。また、できるだけ多くの人が発言できるように、全員平等に発表のチャンスが与えられます。とてもやる気が出てくる授業です。

毎日英語と触れる



6年間の英語指導で、
基礎から応用までを身につける

1・2年生は毎日20分、3年生以上は45分授業を週3回、20分授業を週2回実施。英語に慣れ親しむ機会を多く設けることで、6年間で英語の基礎力から応用力までを身につけます。

T T
(team teaching)



2か国語を掛け合わせ、
効果的に英語力を養う

ネイティブ教員による生の英語と日本人教員の日本語によるポイント解説を組み合わせ、効果的な学習を進めます。また、少人数での学習を常時行うことで、一人ひとりの知識の定着を図ります。



SDGs Report

奉仕活動

清掃活動を通して、
感謝の気持ちをかたちに

定期的に通学路の清掃を行います。自分たちの手できれいにすることで、清掃の大切さや大変さを実感すると共に、普段お世話になっている地域の方々やスカイレンジャーズさんたちへの感謝の心が芽生えます。



英語検定



自ら高い目標を設定し、
実用英語技能検定（英検）に挑戦

子どもたちの英語への関心を高めることをめざし、本校を準会場として毎年1回英検を実施しています。5・6年生は全員、1～4年生は希望者が受験。より高い級の取得を目標に定め、互いに励まし合いながらチャレンジしています。

関西学院大学
留学生と
交流



留学生とのコミュニケーションが、
世界へと視野を広げる機会に

4・5年生は関西学院大学の留学生とランチタイムなどに英語で交流を行います。さまざまな国籍の学生とのコミュニケーションを体験することで、他国との文化や環境、考え方の違いを学びます。



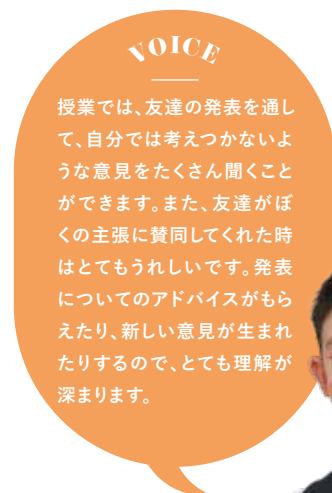
Universal | 全員参加・理解 |

全員で「わかる」。全員で「助け合う」授業。



発言しやすい教室づくりで、
他者意識を高める

子どもたちが常に「よりよい私たち」をめざせるように、お互いのかかわり合いの質を高め、他者に共感する能力や思いやりの心を育みます。そのためには、子どもが安心して授業に参加できる環境とすることが重要です。答えを間違えても肯定的に受け止め、それを新たな学びを生みきっかけとするなど、子どもが安心してアウトプットできる教室づくりをめざしています。



授業では、友達の発表を通して、自分では考えつかないような意見をたくさん聞くことができます。また、友達が多くの主張に賛同してくれた時はとてもうれしいです。発表についてのアドバイスがもらえたり、新しい意見が生まれたりするので、とても理解が深まります。



本物を知る。自分を知る。

Authentic | 本物 |



平和の尊さを学び、
心のつながりを体験する

5年生では平和を学ぶ旅として被爆地である広島を訪問。平和記念公園のさまざまな施設や記念物を見学したり講話を聞いたりして、「戦争」を自分の体で感じ取り、平和の尊さを学びます。また、広島県江田島市の皆様のご協力のもと民泊を体験。各民泊先で住民の方と交流することで、温かい心のつながりを実感します。



学びの内容を
整理しながら、
さまざまな表現力を
身につける

学習の節目において、学んだことを振り返り、それを自分の言葉で表現します。時には文章だけでなくイラストや図解を入れるなど、創意工夫を凝らし、わかりやすく表現する力を養います。



相手にわかりやすく
伝えることが、
思考の整理に役立つ

授業では、子どもたちが教室の前に立ち、友達に対して自分の考えを説明する機会を多く設けています。これによって、「物事を論理的に思考し、整理する力」が身につきます。

SDGs Report

| 教員の声 |

一人ひとりに寄り添った
学習支援を心掛ける

授業では全員参加・全員理解を大切にしています。一部の子ども意見だけで進んでいくことをよしとはしません。授業の終盤には「ふりかえり」を書かせます。これにより、子どもたちは自分の学びをメタ認知できるのです。学びを俯瞰し整理することが確かな学力へとつながります。また、「ふりかえり」を読むとその子どもの理解度もわかります。子どもたち一人ひとりの学びを丁寧に見取ること、それぞれに合った支援をしていくことを心掛けています。

石田 航平 教諭

SDGs Report

| 自然体験キャンプ |

豊かな自然の中で、
自分自身の成長を実感

関西学院千刈キャンプで行われる自然体験キャンプでは、3年生の子どもたちが自然体感プログラムやザリガニ狩り、キャンプファイヤーなどに挑戦。自分の役割を意識しながら仲間と協力して生活することで、新しい自分に出会うことができます。

| 田植え体験 |

田植え体験を通して、
新しい学びを得る

5年生の子どもたちは、農業への理解を深めるために、関西学院同窓会の皆様のご指導のもと田植えを体験します。自分の手で苗を植える貴重な経験は、食の大切さを学ぶよい機会となっています。

KGSO

大学生との交流を通して学ぶ、
「本物」のスポーツ

3年生から、関西学院大学体育会の学生によるスポーツ教室を受講します。子どもたちは、大学生アスリートたちによるプロさながらのプレーを観戦。自身も一緒にプレーすることで、「本物」のスポーツの楽しさを学びます。

音楽祭

心をひとつにして
感動の舞台をつくりあげる

「届けよう心のハーモニー」をスローガンに、毎年11月に音楽祭を開催します。合唱や器楽合奏など、各学年が練習の成果をチャペルで発表。児童全員で目標に向かって支え合う中で、仲間という存在の大切さを実感します。

宝塚歌劇鑑賞

地元宝塚で過ごす
夢のような時間

6年生は卒業の思い出の1つとして、宝塚歌劇を鑑賞します。子どもたちはタカラジェンヌの歌や芝居、ダンスなど、磨き上げられたプロの技に触れることで、地元の文化の素晴らしさを体感します。

ロボットプログラミング

自らの手でプログラムを組み、
ロボットを動かす

5年生では社会科学習の一環として、プログラミングを学び自分たちでロボットを動かします。また、「ロボットクラブ」にも多数の児童が参加し、世界的な大会WRO (World Robot Olympiad) に向けて知識や技術を深めます。

深化を続ける関学の学び

ICT教育

ICTを活用した 新たな教育の在り方

社会の情報化が急速に進む中、教育においても「ICT(情報通信技術)」が積極的に導入されています。初等部では、各教室および特別教室にプロジェクター、PC、書画カメラ、AppleTVなどを配備。主要教科においてはデジタル教科書を用いて、日々の学習に効果的に活用しています。



VOICE

1人につき1台iPadがあるおかげで、さまざまな情報を素早く得られます。友達同士で情報や考えを共有すると、新たな発想が生まれ、授業がさらに楽しくなります。また、係活動などでもiPadを使うことで、学級での活動が充実します。



5教科



「なぜ」を追究する姿勢が

学びの理解を深める

初等部では教科を問わず、「なぜそうなのか」「それぞれの知識や事象がどうつながるのか」を追究することを大切にしています。各教科で身につけた知識と知識を結びつけて考え、学びを活用する力を習得。与えられた問題を自分の力で解決する姿勢を身につけることは、より深い理解につながります。

各教科の 特色

算数

算数の楽しさを感じながら、「数量や図形についての概念や性質」を考察する力を身につけ、学力の確かな定着を図ります。

理科

机上の学びだけでなく、実験や観察などを体験することで、科学的な思考力や判断力を培います。同時に、身の周りの現象や自然への関心や問題意識を高めます。

国語

低学年では内容を正確に読み取ること、高学年では理解した内容を自ら表現することを通じて、学びの理解を深めます。

英語

学年に応じて、段階的に語彙や4技能を習得します。将来に役立つ英語力の基礎と、積極的なコミュニケーション力が身につきます。

社会

グローバルな視点で物事を考える力を養うと共に、主体的に社会とかかわり、他者の気持ちに寄り添い判断する力を習得します。



Point 1 児童全員が 1台ずつiPadを所有

児童全員に1台ずつiPadを提供しています。「ロイノート・スクール」などのアプリを活用することで、教師と児童、あるいは児童同士が自らの意見を交換し合う双方向型のやり取りが活発化。児童の主体性を育むことはもちろん、協働学習の促進にもつながっています。



Point 2 全国初 「スタディサプリENGLISH」の導入

5・6年生の授業および家庭学習を対象に、「小学校としては全国で初めて」スタディサプリENGLISHを導入しました。この英語学習アプリは、ゲーム感覚で楽しみながら、自分のレベルにあった内容を進めることができます。これにより、自分のペースで英語を学ぶ「個に対応」した英語学習環境を実現しています。

教員 研修



よりよい授業環境を めざす



子ども同士のかかわり合いの質を高めるためには授業がどうあるべきか、理想の学びに向き合う教員研修に力を入れています。各教員が互いに授業を公開し評価し合う授業検討会や、読書会、勉強会などを積極的に行うことで、よりよい学びの場づくりをめざします。

実力 テスト



自分の学力レベルを 見極める

自分の学力レベルを測るため、年に1回、3学期に全国的テストに挑戦します。毎学期行われる期末テストと合わせて、1年間で身につけた学力を自分自身で確認し、今後の学習目標の設定を行います。

教科 担任制



それぞれの教科を 専門的に学ぶ

1～4年生は音楽、図工、聖書、理科、生活科、英語の授業、5・6年生はすべての科目で教科担任制を採用しています。専門性の高い授業で、中学部への進学を見据えた応用的な内容にも取り組めます。

関学での1日 [安全・安心への取り組み]

登校



警備員、PTA、スカイレンジャーズに見守られながら、毎朝元気に登校。社会の一員として、ルールやマナーを身につけます。耐震性、防犯性に配慮し、万全の安全対策を施した校舎が子どもたちの学校生活を守ります。

登校時の感染防止対策

登校中の感染防止対策として、自家用車での子どもの送り迎えを許可しています。初等部内に車が通行できる通路を整備しており、児童は校舎入口前で降車することができます(新型コロナウイルス感染防止のための暫定的な措置です)。



フリータイム



校庭や芝生で、友達と元気に遊びます。自分たちで遊びを創造することも大切な学びの一つです。

メディアセンターの感染防止対策

密を避けるため、カウンターに並ぶときに立つ場所を色違いのカーペットで示しています。また、カウンターに透明なシートを設置することで、感染を防止します。



授業



午前中は45分の授業を1〜4限まで実施。午後は学年に応じて、5〜7限の授業を実施します。

ソーシャルディスタンスを確保した教室



初等部の教室は、広さが標準的な教室の2倍あり、席の間隔を広くしてディスタンスを確保することが可能。児童机は左右だけでなく前後の距離も空けて配置しています。また、換気扇の強さに加え、風が教室の窓から中庭に抜けていく構造で、常に空気が循環する環境を実現しています。

下校



正門前から続く木々でできたアーチを抜けて、友達と仲良く下校します。

安全面の取り組み



ミマモルメ

全児童が携帯するICタグを通して、正門を通過すると子どもたちの登下校の情報が学校・保護者にメールで配信されます。緊急連絡時には、指定のメールアドレスに連絡できるなど、迅速かつ確実な情報伝達を行える環境を整えています。



スカイレンジャーズ

関西学院大学OBのみなさんによるボランティアグループです。毎日子どもたちの通学を見守ると共に、交通量の多いエリアでの通学マナーも教えています。



避難訓練

地震、水害、火災などさまざまな状況を想定した避難訓練を毎学期実施。万一の事態に対応できるよう、子どもたちも真剣に取り組んでいます。

8:00 8:40 9:00～午前の授業

12:35 13:00 13:20 13:40～午後の授業

15:20 16:15

こころの時間



一日のはじまりは「ベーツチャペル」での礼拝からスタート。聖書の言葉に耳を傾け、讃美歌を歌います。

チャペルと教室に分かれて実施



感染予防対策のため、チャペルには各クラスが交代で入堂。他のクラスの子どもたちは映像を通して礼拝を守ります。場所は異なりますが、全校児童が心を一つにして祈りをささげています。

ランチタイム



教室やダイニングルーム、芝生でみんなと一緒にランチタイムを過ごします。また、家庭だけでなく学校でも食育について学びを深めるため、お弁当を持参していただくよう各家庭にお願いしています(外部業者へのサンドイッチ・お弁当注文制度もあります)。

自動感知式水道

子どもたちは教室に入る前に、各教室前の水道で必ず手を洗います。水道は自動感知式で、蛇口に触れることなく手洗いが可能です。



クリーンタイム

掃除の習慣を身につけると同時に、役割分担しながら協働する大切さを学びます。



放課後



メディアセンターで本を読んだり、クラブ活動に参加したりと、思い思いの時間を過ごします。

関西学院 CRESCENT SCHOOL



詳しくはこちら



関西学院大学西宮北口キャンパス「NISHIKITA CROSS」に「関西学院CRESCENT SCHOOL」を開校しました。最長20時まで延長お預かりすることができ、子どもたちにとって放課後の居場所の一つとなっています。長期休暇中や一時的なお預かりにも対応しています。

ネイティブ講師と交流し、高い英語力を身につける

当スクールでは外国人の先生の英語に触れる時間を設けています。先生とゲームやクイズ、読書しながら日常的に英語に触れ、慣れ親しむことで、幼少期だからこそ可能な英語耳を養うことができます。

多種多様な体験を通して、夢中になれることに会える

英語や芸術、プログラミングなど、各分野のプロフェッショナルである講師陣のもと、子どもたちは興味のあることに自由に挑戦。本気で取り組む中で、自分自身の得意分野を見出すことができます。

お問い合わせ先 TEL:0798-81-3378

時間割

各教科等の週あたり授業時数

2022年度/前期A 週:月曜日から土曜日まで授業実施の場合

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	10	10	8	8	6	6
社会	・	・	2	3	3	3
算数	5.5	7.5	6	6	6	6
理科	・	・	3	3	3	3
生活	3	3	・	・	・	・
音楽	2	2	2	2	2	2
図工	2	2	2	2	2	2
家庭	・	・	・	・	2	2
体育	3	3	3	3	3	3
聖書	1	1	1	1	1	1
英語	20分×5	20分×5	45分×3 20分×2	45分×3 20分×2	45分×3 20分×2	45分×3 20分×2
学活	1	1	1	1	1	1
総合	・	・	1	1	1	1
クラブ・委員会 こころの時間	15分×5	15分×5	15分×5	15分×5	15分×5	15分×5

時程表

始業	8:25
朝の会	8:25～8:35
こころの時間	8:40～8:55
1限	9:00～9:45
2限	9:55～10:40
	通常授業時程 7時間授業時程
フリータイム	10:40～10:55 10:40～10:50
3限	10:55～11:40 10:50～11:35
4限	11:50～12:35 11:45～12:30
昼礼・ランチタイム	12:35～13:00 } 12:30～13:10
フリータイム	13:00～13:20 }
クリーンタイム	13:20～13:35 -
5限	13:40～14:25 13:10～13:55
6限	14:35～15:20 14:05～14:50
7限	- 15:00～15:45
終礼	5限までの時 14:25～14:35 13:55～14:05
	6限までの時 15:20～15:30 14:50～15:00
	7限までの時 - 15:45～15:55
最終下校	3～10月 16:30
	11～2月 16:15

「きょうの初等部」

初等部HPでは日々の暮らしをブログ形式で紹介しています。



カウンセリング

常駐のスクールカウンセラーが子どもたちのさまざまな悩みと向き合い、一緒に解決します。また、保護者の方々のご相談にも迅速かつ丁寧に対応しています。

※児童と保護者を対象にした完全予約制で、プライバシーにも配慮しています。



詳しくはこちら



入学での1年



Spring 春

4月

- 入学式
- 1学期始業礼拝
- 新入生を迎える会
- 地区集会
- なかよし集会
- 健康診断
- 身体計測
- イースター礼拝
- 交通安全教室
- 授業参観・学級懇談会※
- PTA総会※



5月

- 体育祭
- なかよし遠足
- 3年自然体験キャンプ
- 避難訓練(火災)
- 6年カナダ・コミュニケーション・ツアー
- 個人懇談会※



6月

- 5年平和を学ぶ旅
- 5年田植体験学習
- 春季宗教週間
- ペンテコステ礼拝
- 花の日礼拝
- 聖書講座・授業参観※
- 1年阪急電車西宮車庫見学



7月

- 水泳教室
- 学期末テスト
- 2・4年リトリートキャンプ
- 1学期終業礼拝
- 家庭訪問
- 個人懇談会※
- 教育講座※



8月

- 家庭訪問



9月

- 2学期始業礼拝
- 創立記念礼拝
- 身体計測
- 授業参観・学級懇談会※



Autumn 秋

10月

- 命を守る学習(防犯)
- 校外学習
- 聖書講座※
- 秋季宗教週間



11月

- 音楽祭
- 収穫感謝礼拝
- 教育講座※



12月

- 学期末テスト
- クリスマス礼拝
- 2学期終業礼拝
- 個人懇談会※



Winter 冬

1月

- 3学期始業礼拝
- 身体計測
- 避難訓練(地震)
- 授業参観※
- 教育講座※
- 作品展



2月

- マラソン大会
- 作品展
- 聖書講座※
- 文化芸術教室



3月

- 学期末テスト
- 卒業生を送る会
- 卒業式
- 修了礼拝
- 授業参観・学級懇談会※



※保護者対象です。

制服紹介

本学指定の制服を着用いただきます。
濃紺と白を基調とした制服。
品位と機能性を追求したデザインです。



合服



夏服



冬服

学校基礎データ

児童数	545人(男253人 女292人) 1学年／3クラス 1クラス／30人
教員数	32人(他、講師16人)

(2022年3月1日現在)

学費・その他諸経費(年額)／2022年度

学費	授業料	800,000円	1,000,000円
	教育充実費	200,000円	
その他の諸費	教材・学年宿泊行事等前納金	52,000円	141,000円
	図書購入費	1,000円	
	ICT関連費	10,000円	
	PTA会費	15,000円	
	修学旅行費積立金	60,000円	
	後援会費	3,000円	
合計		1,141,000円	

※これらの他に、制服・体操服・iPad等の制定品費が別途必要となります。詳細は入学時にお知らせします。

関西学院の施設



関西学院併設校紹介

関西学院大学

社会に貢献する「世界市民」をめざし、
幅広い知識と深い専門性を身につける

高度な知識に加え、国際性と創造力、課題発見・解決能力、実行力を養成。思いやりと高潔さを持って“Mastery for Service”を体現し、地域社会・国際社会の発展に寄与する「世界市民」としての資質を身につけます。



聖和短期大学

保育に関する専門知識と実践力で、
子どもの幸せに貢献できる保育者を養成

少人数授業やアドバイザー制度など、きめ細かい教育を実施。3つのH(Head:真理の探求、Heart:自分を愛し人を愛する心、Hand:奉仕と実践)を大切にすることを教育の理念とし、専門性と実践力を持つ保育者を育てます。



高等部

多様なカリキュラムを通して、
総合的な人間性を育む

大学や社会に必要な学力や教養を育成するためのさまざまなカリキュラムを展開。普段の学びの他に、キリスト教教育、人権教育、課外活動を積極的に行うことで、総合的な人間性を醸成します。



中学部

5つの学びを柱とし、
「感謝・祈り・練達」を理念とした全人教育

キリスト教主義教育・読書・英語・体育・芸術を教育の柱として、受験勉強に縛られない、豊かな学びを実施。確かな基礎力と探究心、思考力、他者に奉仕する実践力を養います。



千里国際中等部・千里国際高等部(SIS)

国際色豊かな環境で、
世界に貢献するグローバル人材をめざす

さまざまな言語が飛び交う学習環境で、日常的に多様な文化に触れることができます。また、関西学院千里国際キャンパスでは「5つのリスペクト」という行動指針を設定。自分自身の行動に責任を持ちながら、学びを進めます。



関西学院初等部

関西学院全体で初等部をサポート

中学部・高等部との交流



中学部・高等部の生徒による初等部訪問や中学部の授業見学など、双方の交流の機会を設けています。早期から進学後の発展的な学びの意識を持たせると共に、広い社会性を身につけるきっかけとなっています。

KGSO kwansei Gakuin Sports Omnibus

関西学院大学体育会の学生によるスポーツ教室を3年生からを対象に実施しています。詳しくはP.08へ

関西学院大学留学生と交流

4・5年生は、関西学院大学の留学生と交流を行います。

詳しくはP.06へ



初等部で培った自信を胸に、目標に向かって突き進む。



初等部時代

関西学院大学理工学部4回生

真田 潤平 さん

大学院進学予定

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

6年生の時にクリスマスページェントに出演し、全校生徒の前で劇を行いました。大変緊張しましたが、先生方と一緒に何度も練習を繰り返したおかげで本番は無事成功。この出来事以降は、「あの緊張感に比べたら大したことはない」と、何事にも自信を持って取り組めるようになりました。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。

中学部・高等部でさまざまな知識や経験を吸収し、大学ではそれらをアウトプットしてきました。たとえば、中学部時代は新たな環境に一步踏み出すことを目標に、体育大会や文化祭などの裏方を経験。大学では自分の経験を他者に還元しようと、塾講師のアルバイトを始め、生徒に将来の選択肢を示してあげられるよう努めてきました。

Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。

私は4月から大学院に進学します。大学では理系に進学しましたが、そもそも理系に進もうと決めたのは、将来の目標として「自分の知識や技術を使い、社会や人々の日常生活をより良いものにした」という思いがあったからです。この目標を達成するために大学院で学び、さらに専門的な知見を深めていきたいと思います。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。

何事にもチャレンジする勇気を持ってください。結果が良くても悪くても気にする必要はありません。“チャレンジした”ということが重要です。初等部に通うみんなは他の小学生に比べて、何かに挑戦する機会が多いと思います。ぜひその環境を活かして大きく成長してってください。



6年間で築いた人々とのつながりがその後の人生の原動力になった。



初等部時代

関西学院大学経済学部4回生

板敷 みさと さん

金融業界就職予定

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

特に思い出に残っているのは、マラソン大会に向けた練習の日々です。走ることが大好きだった私は、大会前、先生と一緒にタイムやフォームを研究。そのおかげで本番は優勝できました。初等部の先生方は熱心な方ばかり。子どもたちを褒めて伸ばしながら、一緒に上をめざす姿は今でもよく覚えています。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。

初等部卒業後はスポーツに熱中しました。習い事の空手を続けながら、高等部ではアメリカンフットボール部に所属し、トレーナーとして活動。大学からは体育会でラクロスを始め、日本一をめざしました。KGSOで、ラクロス部として初等部の皆さんと交流できたことはとても感慨深く、貴重な経験になりました。

Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。

社会人としての抱負は、今まで支えてくださった方に恩返しをすること。これまで私の挑戦を応援してくれた両親をはじめ、先生方や周りの方々に、何かしらの形で感謝を表現したいです。また、将来家庭を持った時、自分がしてもらった以上のことを子どもにしてあげられるよう、知識を身につけ、自立したいと思います。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。

私にとって初等部での思い出は一生の宝物。初等部で出会った友人や先生方の存在は、今でも私の原動力であり、支えとなっています。たとえば学生最後の試合では、初等部の先生方から温かいメッセージをたくさんいただきました。皆さんも6年間、周りの方々と一緒に初等部生活を惜しみなく楽しんでください。きっと素敵な宝物が見つかるはずです。



関学ファミリーからのメッセージ



初等部時代

関西学院大学国際学部4回生

片山 理咲子 さん

航空業界就職予定

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

一番の思い出はカナダへの修学旅行。親元から離れ、一週間現地の小学生と一緒に遊んだ経験はとても貴重でした。現地でのコミュニケーションはすべて英語。私にとって大きな挑戦でしたが、一生懸命覚えた英語が伝わった時の感動や、「英語ができればいろいろな人と交流ができるんだ」というワクワクは今でも忘れられません。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。

文武両道をモットーに何事にも全力で取り組みました。中学部・高等部ではバレーボール部、大学ではフラッグフットボールサークルに所属。また、好きな英語を学ぶため、オーストラリアやアメリカに留学しました。さまざまな価値観や文化に触れることで、多様な考え方を受け入れながら、自ら考えて行動できるようになったと思います。

Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。

関西学院で学んだ“Mastery for Service”を体現し、常に謙虚な姿勢と思いやりを忘れずに頑張ります。航空業界は、誰かにとっての特別な1日を支える仕事です。仕事を通じてお客さまと一緒に働く仲間、そして周りでサポートしてくれる方々に少しでもプラスの影響を与え、笑顔になってもらえるよう、日々努力していきたいです。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。

いろいろなことに挑戦してください。試行錯誤する過程や、行動した結果のすべてが自分の糧になります。努力は必ず報われますし、応援してくれる人は必ずいるので、安心してチャレンジしてほしいです。また、感謝、謙虚さ、素直さ、笑顔を忘れないことも、当たり前のように意外と難しく、重要なことだと思います。ぜひ、一緒に頑張っていきましょう。



修学旅行で触れた英語の面白さが航空業界での仕事を志す原点に。



初等部時代

関西学院大学社会学部4回生

前田 公昭 さん

金融業界就職予定

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

特に覚えているのは、6年生の体育祭で経験した騎馬戦です。クラス内予選で大将の座を勝ち取った私は、クラス対抗戦での自分の出番を楽しみしていました。しかし、結果は私のチームの圧勝。大将戦を行う前に決着がついてしまったのです。自分の力を発揮できなかった当時の悔しさは、その後の人生の力になったと感じています。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。

中等部からはアメリカンフットボール部に所属し、仲間と共に日本一をめざすアメフト一色の学生生活に。高等部では1回、大学では4年連続日本一を達成することができ、ただ勝つだけではなく、「勝つべくして勝つチーム」をつくる大切さと難しさを学びました。大学4年生の時に年間最優秀選手に選ばれたことも大事な思い出です。

Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。

4月からは社会人としての1歩を踏み出します。これまでかかってきた人々への恩返しや社会への貢献を目標に、アメリカンフットボールでの活動を通じて学んだ多くのことを活かしていきたいです。また、関西学院初等部第1期生として、後輩たちの良い見本となるような立派な社会人をめざしていきます。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。

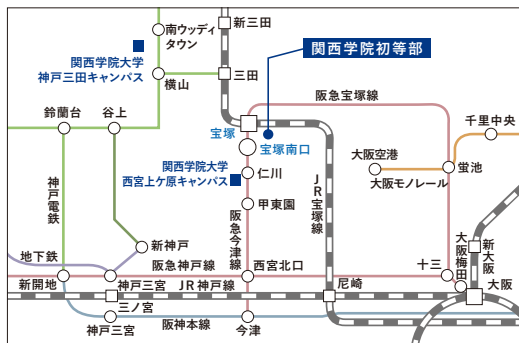
毎日何か新しいことに挑戦してください。成功や失敗をたくさん経験すればいろんな発見があるはずです。それが何年後かに皆さんの力となるでしょう。また、友達を大切にしてほしいと思います。初等部でのつながりはかけがえのないもの。今後壁にぶつかった時、きっと友達が支えになってくれます。絆を深めながら、初等部生活を思う存分楽しんでください。



初等部第1期生として、後輩たちの見本となる存在になりたい。

Access

阪急電鉄「宝塚」駅下車1,100m／阪急電鉄「宝塚南口」駅下車800m
JR「宝塚」駅下車1,200m



Event

入試イベントスケジュール

入試イベントの詳細および
お申込みは、こちらまで



入試キックオフイベント
(Zoomウェビナー) 》 2022年 2月26日(土)

学院説明会(上ヶ原) 》 2022年 4月16日(土)

授業参観(初等部) 》 2022年 5月14日(土)

オンライン相談会
(Zoomウェビナー) 》 2022年 6月11日(土)

入試説明会(初等部) 》 2022年 6月25日(土)

※ただし、感染症の状況によって、開催方法や内容の変更および
中止の可能性があります。



美しい初等部の風景や
子ども達の活動の様子
を配信しています。



学校、そして児童の日常を
知っていただくために



関西学院初等部のHPでは、入試情報のほか、毎日の学校の様子を紹介する「きょうの初等部」、学校長による「校長ブログ」など、さまざまなコンテンツを通して児童の日常生活や学校の雰囲気をお届けしています。

関西学院初等部ホームページ <https://www.kwansei.ac.jp/elementary/>



関西学院初等部

〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町6-27

TEL:0797-81-5500

FAX:0797-81-5010

E-mail:shotoubu@kwansei.ac.jp